

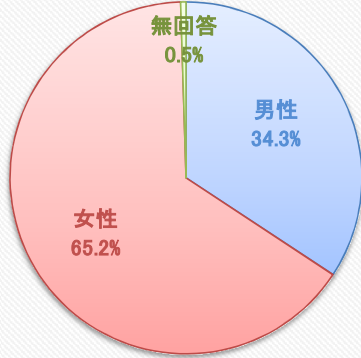
③一般の方向け

H27年度

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

1) 性別

34.3%が「男性」、65.2%が「女性」となっている。



■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答

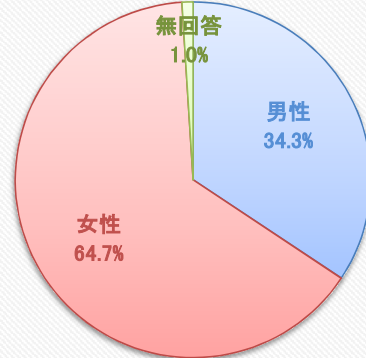
	サンプル数	男性	女性	無回答
対象	181	34.3%	65.2%	0.5%
一般	181	62	118	1
合計	181	62	118	1

H30年度

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

1) 性別

- ・女性が64.7%と男性より多い。
- ・性別の割合は前回とほぼ同じである。



■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答

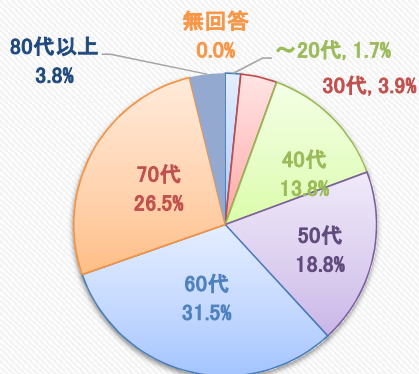
	サンプル数	男性	女性	無回答
対象	201	34.3%	64.7%	1.0%
一般	201	69	130	2
合計	201	69	130	2

H27年度

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

2) 年齢

31.5%が「60代」、26.5%が「70代」、18.8%が「50代」となっている。



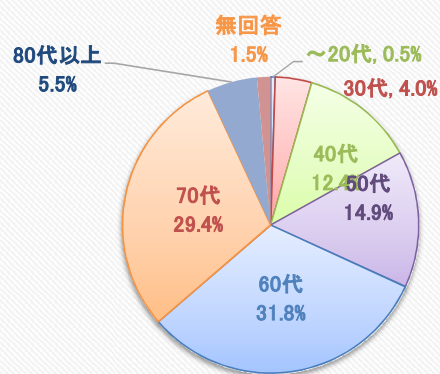
■ ~20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代以上 ■ 無回答

H30年度

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

2) 年齢

- ・年齢は60代が31.8%と最も多く、ついで70代が29.4%、50代14.9%となっている。
- ・前回と比較して70代以上が増加し、50代が減少している。



■ ~20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代以上 ■ 無回答

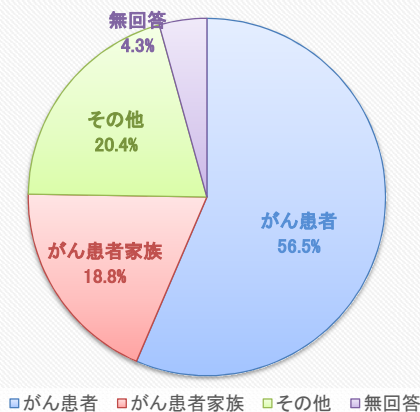
③一般向け

H27年度

Q1「アンケート回答者」についてお伺いします。

3)がんとの関係

56.5%が「がん患者」、18.8%が「がん患者家族」、20.4%が「その他」となっている。



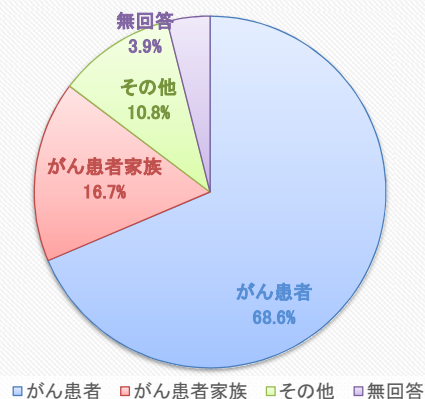
	サンプル数	がん患者	がん患者家族	その他	無回答	項目合計
対象	181	56.5%	18.8%	20.4%	4.3%	100.0%
一般	181	105	35	38	8	186
合計	181	105	35	38	8	186

H30年度

Q1「アンケート回答者」についてお伺いします。

3)がんとの関係

・がんとの関係は「がん患者」が最も多く68.6%であり、つぎに「がん患者家族」16.7%となっており、患者・家族合わせて85.3%の回答者ががんとの関係性が高い。
・前回と比較して「がん患者」は12.1%増加しており、がんとの関係性が比較的低い「その他」が9.6%減っている。



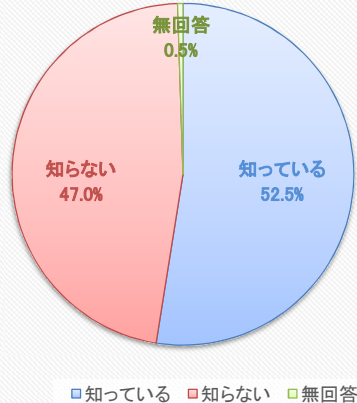
	サンプル数	がん患者	がん患者家族	その他	無回答	項目合計
対象	201	68.6%	16.7%	10.8%	3.9%	100.0%
一般	201	140	34	22	8	204
合計	201	140	34	22	8	204

H27年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

1)がん相談支援センターを知っていますか

52.5%が「知っている」、47.0%が「知らない」となっている。



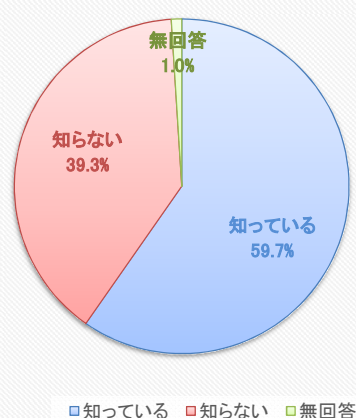
	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	181	52.5%	47.0%	0.5%
一般	181	95	85	1
合計	181	95	85	1

H30年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

1)がん相談支援センターを知っていますか

・がん相談支援センターを「知っている」は59.7%であり、「知らない」39.3%を上回った。
・前回と比較して「知っている」が7.2%増加している。



	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	201	59.7%	39.3%	1.0%
一般	201	120	79	2
合計	201	120	79	2

③一般向け

H27年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

2)どのように知りましたか。(自由記載より分類)

項目	件数
病院で・入院中など	22
パンフレット・ちらし・カード・冊子	12
ポスター・掲示物	11
がんサロン	11
看板・案内板	7
看護師	6
仕事上・職場	5
職員・スタッフなど	4
セミナー・講演会	3
書籍	3
医師	2
インターネット	2
マスコミ・新聞	2
私のカルテ	2
友人	2
院内放送・モニター	1

H30年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

2)どのように知りましたか。(自由記載より分類)

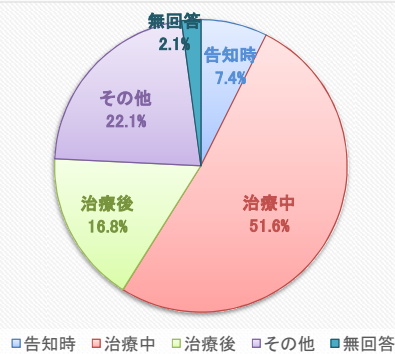
項目	件数
病院で・入院中など	35
がんサロン	15
ポスター・掲示物	14
パンフレット・ちらし・カード・冊子	13
医師	9
看護師	8
看板・案内板	6
私のカルテ	6
仕事上・職場	4
新聞・市政便り	4
セミナー・講演会	4
職員・スタッフなど	3
インターネット	2
家族	2
院内放送・モニター	2
アンケート	1
社会制度	1
友人	1

H27年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

3)「知っている」と答えた方はお答えください、いつ頃知りましたか

7.4%が「告知時」、51.6%が「治療中」、16.8%が「治療後」、22.1%が「その他」となっている。



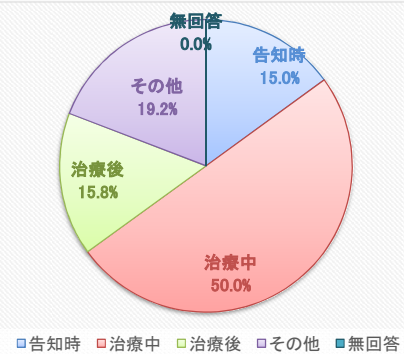
	サンプル数	告知時	治療中	治療後	その他	無回答
対象	95	7.4%	51.6%	16.8%	22.1%	2.1%
一般	95	7	49	16	21	2
合計	95	7	49	16	21	2

H30年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

3)「知っている」と答えた方はお答えください、いつ頃知りましたか

・「治療中」に知ったが最も多く50%であり、つぎに治療後、告知時となっている。
・前回と比較して「告知時」が7.6%増加している。



	サンプル数	告知時	治療中	治療後	その他	無回答
対象	120	15.0%	50.0%	15.8%	19.2%	0.0%
一般	120	18	60	19	23	0
合計	120	18	60	19	23	0

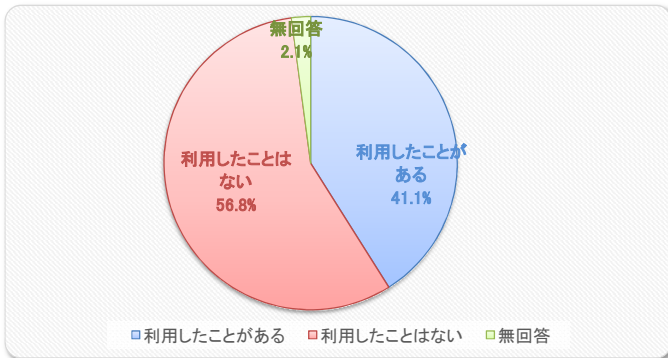
③一般向け

H27年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

4)「知っている」と答えた方はお答えください、利用されたことはありますか

41.1%が「利用したことがある」 56.8%が「利用したことはない」となっている。



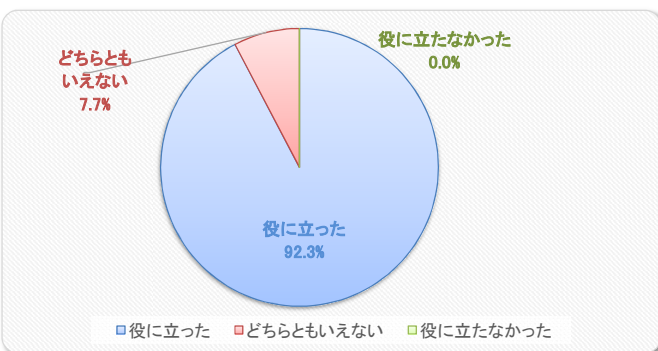
	サンプル数	利用したことがある	利用したことはない	無回答
対象	95	41.1%	56.8%	2.1%
一般	95	39	54	2
合計	95	39	54	2

H27年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

5)「利用したことがある」と答えた方はお答えください、利用して役に立ったと思いますか

92.3%が「役に立った」、7.7%が「どちらともいえない」、0%が「役に立たなかった」となっている。



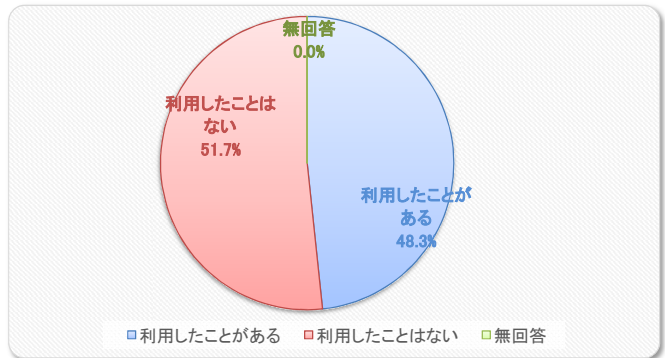
	サンプル数	役に立った	どちらともいえない	役に立たなかった
対象	39	92.3%	7.7%	0.0%
一般	39	36	3	0
合計	39	36	3	0

H30年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

4)「知っている」と答えた方はお答えください、利用されたことはありますか

・がん相談支援センターを「利用したことがある」のは「知っている」と答えたうちの48.3%であり、回答者全体の28.8%にあたる。
・前回と比較すると、がん相談支援センターを「知っている」中の利用率は7.2%増加し、回答者全体としては7.3%の増加になっている。



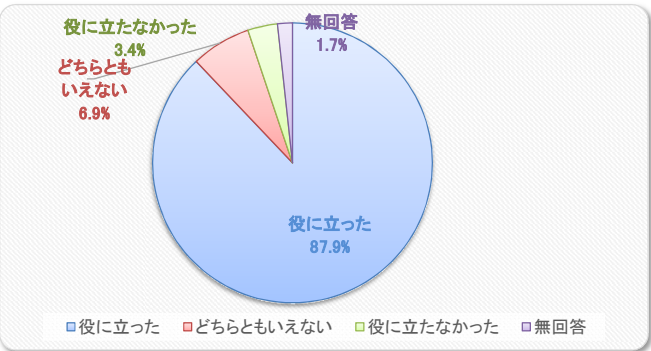
	サンプル数	利用したことがある	利用したことはない	無回答
対象	120	48.3%	51.7%	0.0%
一般	120	58	62	0
合計	120	58	62	0

H30年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

5)「利用したことがある」と答えた方はお答えください、利用して役に立ったと思いますか

・がん相談支援センターを利用して「役に立った」のは87.9%で、「どちらとも言えない」6.9%、「役に立たなかった」3.4%を大きく上回った。
・前回と比較すると、「役に立った」が4.4%減少し、前回0%であった「役に立たなかった」が3.4%となっている。



	サンプル数	役に立った	どちらともいえない	役に立たなかった	無回答
対象	58	87.9%	6.9%	3.4%	1.7%
一般	58	51	4	2	1
合計	58	51	4	2	1

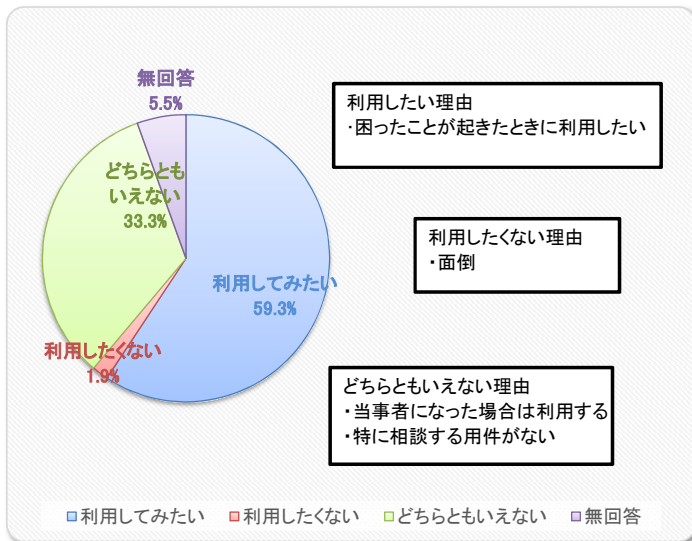
③一般向け

H27年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

6)「利用したことはない」と答えた方はお答えください、
利用してみたいと思いますか

59.3%が「利用してみたい」、1.9%が「利用したくない」、33.3%が「どちらとも
いえない」となっている。

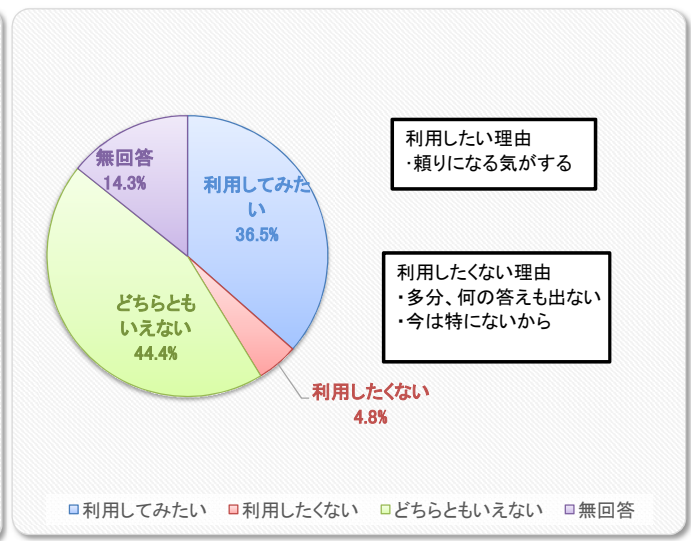


H30年度

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

6)「利用したことはない」と答えた方はお答えください、
利用してみたいと思いますか

・がん相談支援センターを知っていて、利用経験がない人の中で
「利用してみたい」と思う人は36.5%である。
・前回と比較すると「利用してみたい」は22.8%減少し、「利用したく
ない」も2.9%増加している。



	サ ン プ ル 数	利 用 し て み た い	利 用 し た く な い	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
対 象	54	59.3%	1.9%	33.3%	5.5%
一 般	54	32	1	18	3
合 計	54	32	1	18	3

	サ ン プ ル 数	利 用 し て み た い	利 用 し た く な い	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
対 象	63	36.5%	4.8%	44.4%	14.3%
一 般	63	23	3	28	9
合 計	63	23	3	28	9

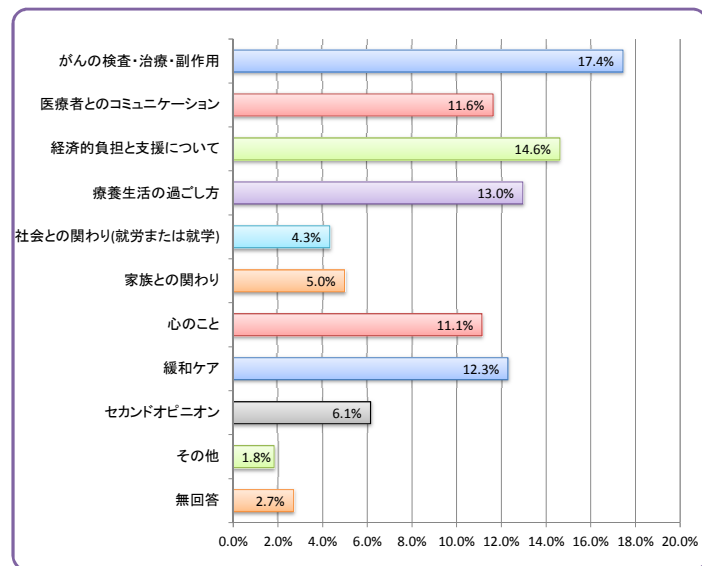
③一般向け

H27年度

Q2「がん相談支援センター」について伺います。

7)がん相談支援センターのサービスで利用したいと思うサービスにレをつけてください

17.4%が「がんの検査・治療・副作用」、14.6%が「経済的負担と支援について」、13.0%が「療養生活の過ごし方」となっている。



	サンプル数	がんの検査・治療・副作用	医師者とのコミュニケーション	経済的負担と支援について	療養生活の過ごし方	社会との関わり(就労または就学)	家族との関わり	心のこと	緩和ケア	セカンドオピニオン	その他	無回答	項目合計
対象	181	17.4%	11.6%	14.6%	13.0%	4.3%	5.0%	11.1%	12.3%	6.1%	1.8%	2.7%	100.0%
一般	181	105	70	88	78	26	30	67	74	37	11	16	602
合計	181	105	70	88	78	26	30	67	74	37	11	16	602

「その他」のご意見

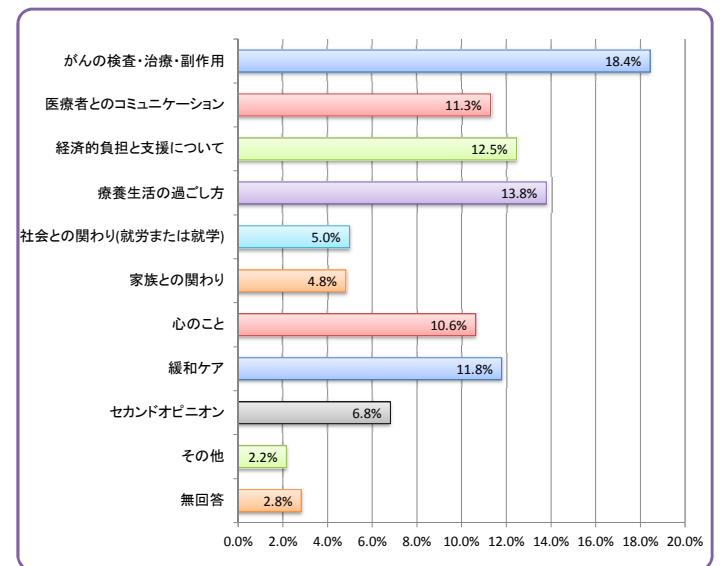
- リハビリについて
- 家族や周囲との関わり方
- セカンドオピニオン、誰にどこでという所で迷っている。
- がんという病気と向きあってもらうために力を貸して欲しい。
- 三大療法以外の療法(たとえば、免疫細胞療法等)
- 先のことがわからない不安
- 同じ病気の方とのコミュニケーション
- 今後のこと
- その時々的心情や考えていること、疑問などを聞いてもらうだけでも心が晴れたり、自分で気付いたりできる。

H30年度

Q2「がん相談支援センター」について伺います。

7)がん相談支援センターのサービスで利用したいと思うサービスにレをつけてください

・「がんの検査・治療・副作用」が18.4%、「療養生活の過ごし方」が13.8%、「経済的負担と支援について」が12.5%と上位の意見となっている。
・前回と比較すると上位の項目は変わらないが、「療養生活の過ごし方」が「経済的負担と支援について」を上回った。



	サンプル数	がんの検査・治療・副作用	医師者とのコミュニケーション	経済的負担と支援について	療養生活の過ごし方	社会との関わり(就労または就学)	家族との関わり	心のこと	緩和ケア	セカンドオピニオン	その他	無回答	項目合計
対象	201	18.4%	11.3%	12.5%	13.8%	5.0%	4.8%	10.6%	11.8%	6.8%	2.2%	2.8%	100.0%
一般	201	111	68	75	83	30	29	64	71	41	13	17	602
合計	201	111	68	75	83	30	29	64	71	41	13	17	602

「その他」のご意見

- 治療や経済的負担が変わった時
- 治療、副作用等についての納得できる説明
- 運動のこと
- 新しい情報、正しい情報
- 退院後の日常生活、食生活、回復的リハビリテーション
- 代替医療

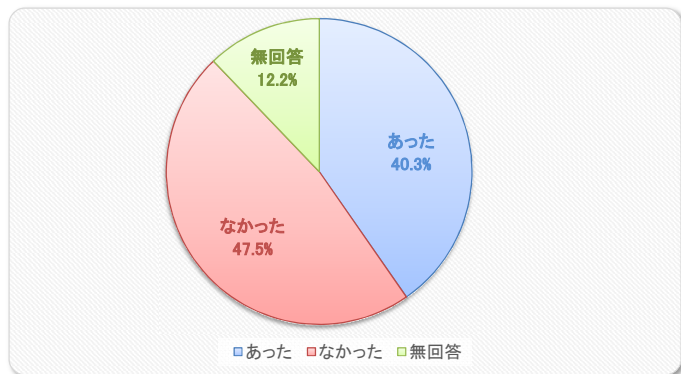
③一般向け

H27年度

Q3.「がん情報の提供及び収集」についてお伺いします。

1) 受診している病院で、がんの相談窓口（がん相談支援センター等）に関する情報の提供はありましたか

40.3%が「あった」、47.5%が「なかった」となっている。



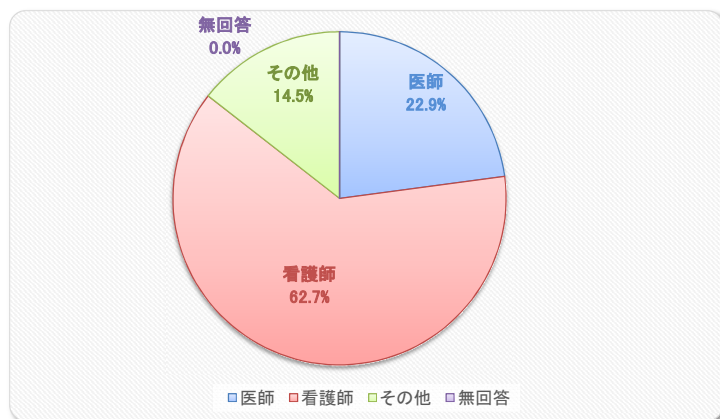
	サンプル数	あった	なかった	無回答
対象	181	40.3%	47.5%	12.2%
一般	181	73	86	22
合計	181	73	86	22

H27年度

Q3.「がん情報の提供及び収集」についてお伺いします。

2) 「あった」と答えた方はお答えください、どなたからお聞きになりましたか（複数回答）

22.9%が「医師」、62.7%が「看護師」、14.5%が「その他」となっている。



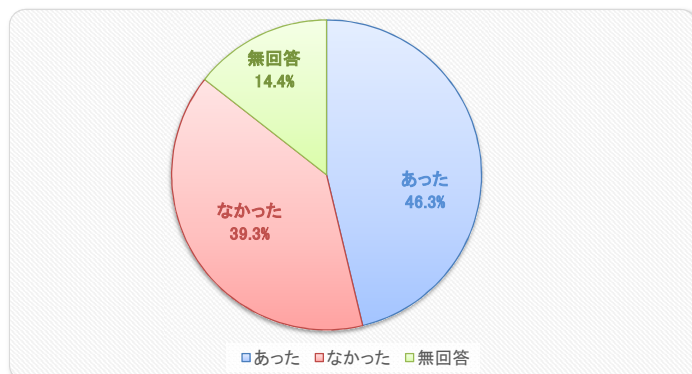
	サンプル数	医師	看護師	その他	無回答	項目合計
対象	73	22.9%	62.7%	14.5%	0.0%	100.1%
一般	73	19	52	12	0	83
合計	73	19	52	12	0	83

H30年度

Q3.「がん情報の提供及び収集」についてお伺いします。

1) 受診している病院で、がんの相談窓口（がん相談支援センター等）に関する情報の提供はありましたか

・がん相談窓口に関する情報の提供が「あった」のは46.3%で、「なかった」39.3%を上回った。
・前回に比べ「あった」が6%増加し、「なかった」が8.2%減少した。



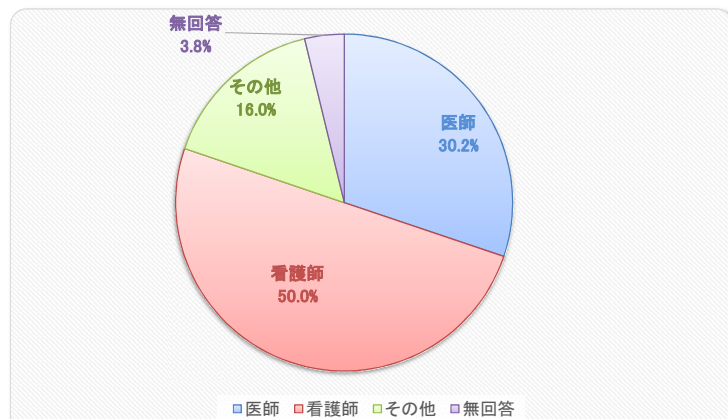
	サンプル数	あった	なかった	無回答
対象	201	46.3%	39.3%	14.4%
一般	201	93	79	29
合計	201	93	79	29

H30年度

Q3.「がん情報の提供及び収集」についてお伺いします。

2) 「あった」と答えた方はお答えください、どなたからお聞きになりましたか（複数回答）

・がん相談窓口に関する情報提供者は「看護師」が50.0%と最も多く、「医師」が30.2%となっている。
・前回と比べ、「医師」の割合が7.3%増加している。



	サンプル数	医師	看護師	その他	無回答	項目合計
対象	93	30.2%	50.0%	16.0%	3.8%	100.0%
一般	93	32	53	17	4	106
合計	93	32	53	17	4	106

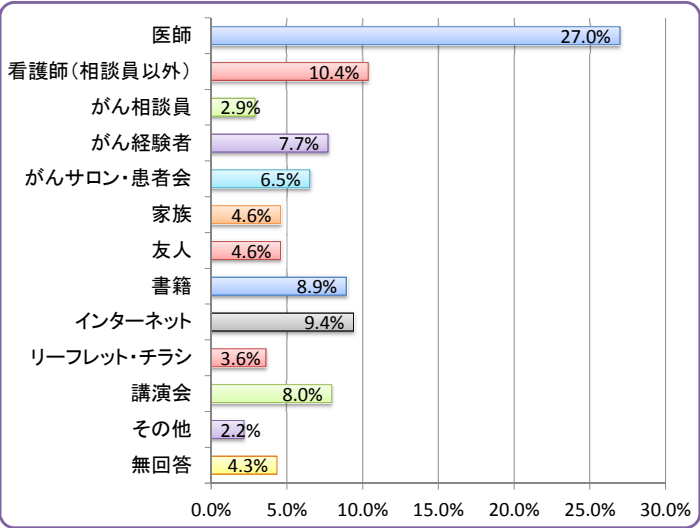
③一般向け

H27年度

Q3.「がん情報の提供及び収集」についてお伺いします。

3)がんに関する主な情報源は何ですか。(複数回答)

27.0%が「医師」、10.4%が「看護師(相談員以外)」、9.4%が「インターネット」となっている。



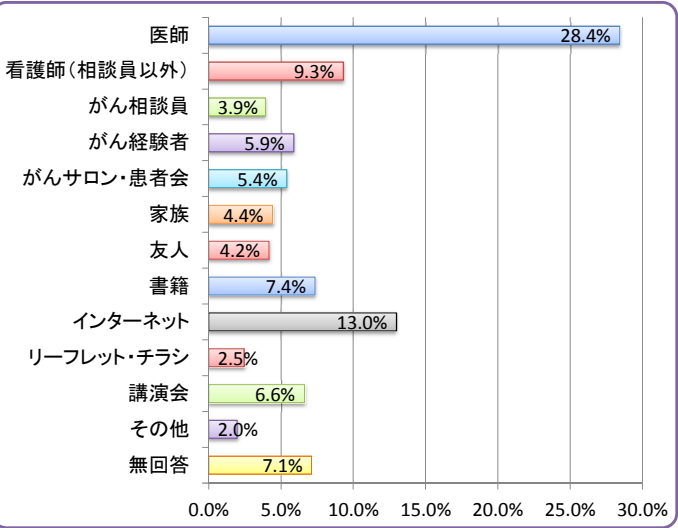
	サンプル数	医師	看護師(相談員以外)	がん相談員	がん経験者	がんサロン・患者会	家族	友人	書籍	インターネット	リーフレット・チラシ	講演会	その他	無回答	項目合計
対象	181	27.0%	10.4%	2.9%	7.7%	6.5%	4.6%	4.6%	8.9%	9.4%	3.6%	8.0%	2.2%	4.3%	100.0%
一般	181	112	43	12	32	27	19	19	37	39	15	33	9	18	415
合計	181	112	43	12	32	27	19	19	37	39	15	33	9	18	415

H30年度

Q3.「がん情報の提供及び収集」についてお伺いします。

3)がんに関する主な情報源は何ですか。(複数回答)

・がんに関する情報源は「医師」が最も多く28.4%となっており、「インターネット」が13.0%、「看護師(相談員以外)」9.3%と続く。
・前回と比較して上位の項目は同じだが、「インターネット」が3.6%増加している。



	サンプル数	医師	看護師(相談員以外)	がん相談員	がん経験者	がんサロン・患者会	家族	友人	書籍	インターネット	リーフレット・チラシ	講演会	その他	無回答	項目合計
対象	201	28.4%	9.3%	3.9%	5.9%	5.4%	4.4%	4.2%	7.4%	13.0%	2.5%	6.6%	2.0%	7.1%	100.0%
一般	201	116	38	16	24	22	18	17	30	53	10	27	8	29	408
合計	201	116	38	16	24	22	18	17	30	53	10	27	8	29	408

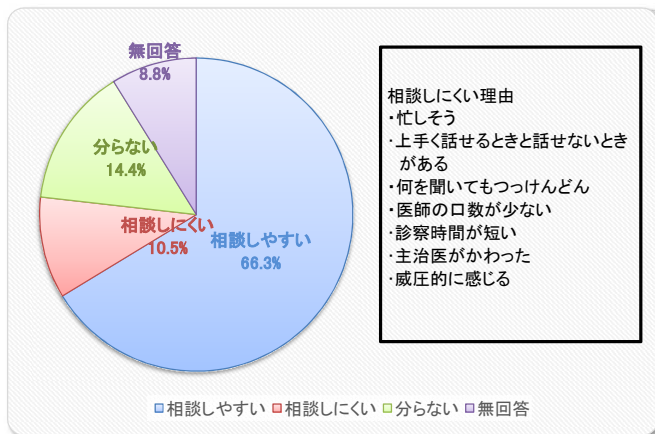
③一般向け

H27年度

Q4.「医療従事者との関係」についてお伺いします。

1)主治医(医師)とは相談しやすい関係ができていますか

66.3%が「相談しやすい」、10.5%が「相談しにくい」、14.4%が「分らない」となっている。



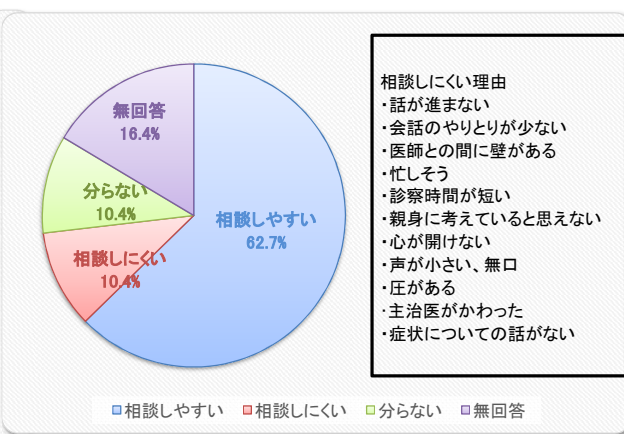
	サンプル数	相談しやすい	相談しにくい	分らない	無回答
対象	181	66.3%	10.5%	14.4%	8.8%
一般	181	120	19	26	16
合計	181	120	19	26	16

H30年度

Q4.「医療従事者との関係」についてお伺いします。

1)主治医(医師)とは相談しやすい関係ができていますか

・主治医に「相談しやすい」と回答したのは62.7%で「相談しにくい」10.4%を大きく上回っている。
・前回と比較して「相談しやすい」は3.6%減少している。



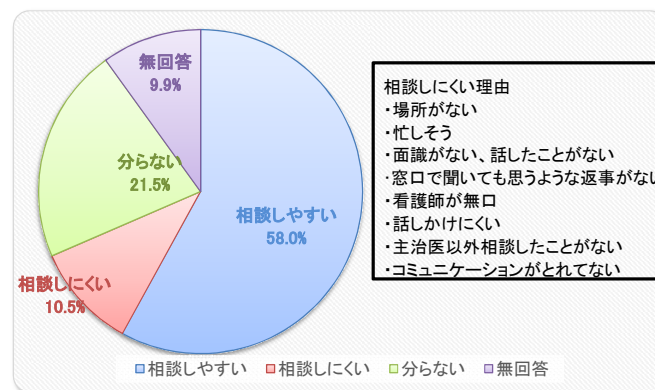
	サンプル数	相談しやすい	相談しにくい	分らない	無回答
対象	201	62.7%	10.4%	10.4%	16.4%
一般	201	126	21	21	33
合計	201	126	21	21	33

H27年度

Q4.「医療従事者との関係」についてお伺いします。

2)医師以外の医療スタッフとは相談しやすい関係ができていますか

58.0%が「相談しやすい」、10.5%が「相談しにくい」、21.5%が「分らない」となっている。



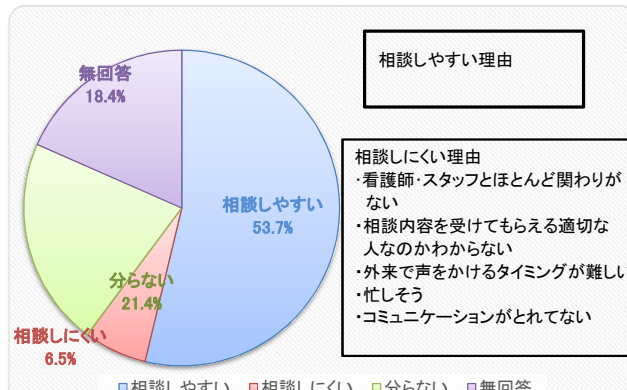
	サンプル数	相談しやすい	相談しにくい	分らない	無回答
対象	181	58.0%	10.5%	21.5%	9.9%
一般	181	105	19	39	18
合計	181	105	19	39	18

H30年度

Q4.「医療従事者との関係」についてお伺いします。

2)医師以外の医療スタッフとは相談しやすい関係ができていますか

・医師以外の医療スタッフに「相談しやすい」と回答したのは53.7%と「相談しにくい」6.5%を大きく上回っているが、医師よりも9%少ない。
・前回と比較して「相談しやすい」は4.3%減少している。



	サンプル数	相談しやすい	相談しにくい	分らない	無回答
対象	201	53.7%	6.5%	21.4%	18.4%
一般	201	108	13	43	37
合計	201	108	13	43	37

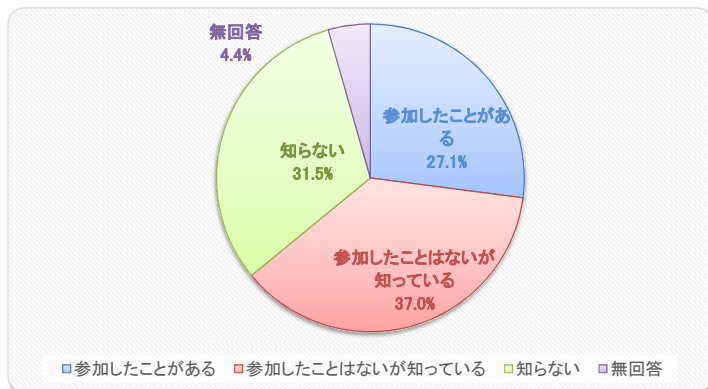
③一般向け

H27年度

Q5.「がんサロン・患者会」についてお伺いします。

1)がんサロン・患者会に参加したことがありますか

27.1%が「参加したことがある」、37.0%が「参加したことはないが知っている」、31.5%が「知らない」となっている。



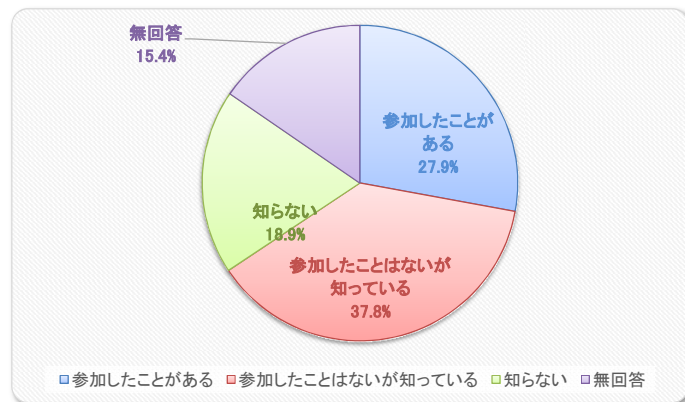
	サンプル数	参加したことがある	参加したことはないが知っている	知らない	無回答
対象	181	27.1%	37.0%	31.5%	4.4%
一般	181	49	67	57	8
合計	181	49	67	57	8

H30年度

Q5.「がんサロン・患者会」についてお伺いします。

1)がんサロン・患者会に参加したことがありますか

・がんサロン等に「参加したことがある」は27.9%で「参加したことはないが知っている」37.8%と合わせて、認知度は65.7%になる。
・前回と比較して「参加したことがある」の割合や認知度に大きな変化はない。



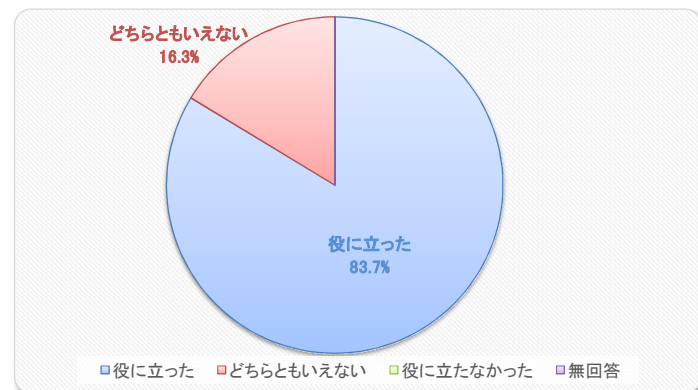
	サンプル数	参加したことがある	参加したことはないが知っている	知らない	無回答
対象	201	27.9%	37.8%	18.9%	15.4%
一般	201	56	76	38	31
合計	201	56	76	38	31

H27年度

Q5.「がんサロン・患者会」についてお伺いします。

2)「参加したことがある」と答えた方はお答えください、参加して役に立ったと思いますか

83.7%が「役に立った」、16.3%が「どちらともいえない」、0%が「役に立たなかった」となっている。



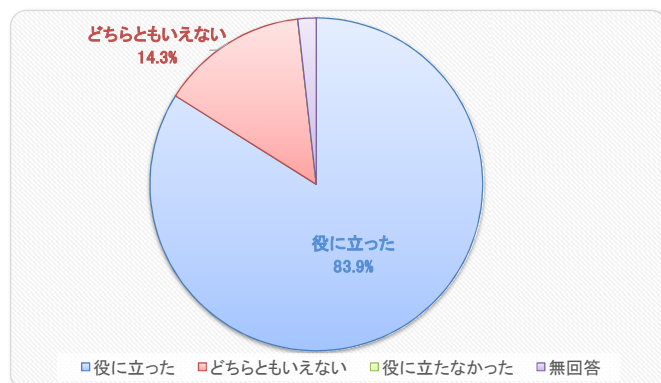
	サンプル数	役に立った	どちらともいえない	役に立たなかった	無回答
対象	49	83.7%	16.3%	0.0%	0.0%
一般	49	41	8	0	0
合計	49	41	8	0	0

H30年度

Q5.「がんサロン・患者会」についてお伺いします。

2)「参加したことがある」と答えた方はお答えください、参加して役に立ったと思いますか

・がんサロンに参加して「役に立った」のは83.9%であり、「役に立たなかった」のは0%だった。
・前回と同様「役にたった」という意見が多かった。



	サンプル数	役に立った	どちらともいえない	役に立たなかった	無回答
対象	56	83.9%	14.3%	0.0%	2.0%
一般	56	47	8	0	1
合計	56	47	8	0	1

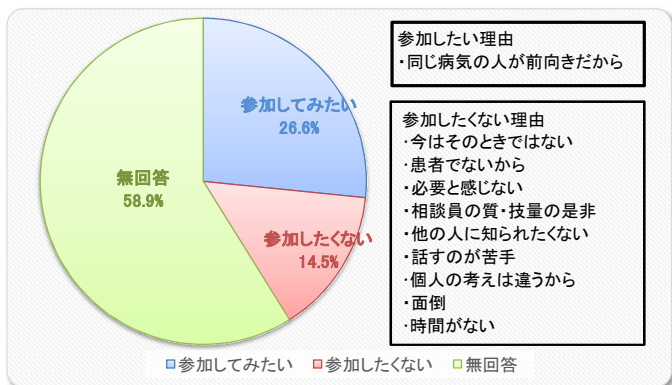
③一般向け

H27年度

Q5.「がんサロン・患者会」について伺います。

3)「参加したことがある」と答えた方以外はお答えください、
参加してみたいと思いますか

26.6%が「参加してみたい」、14.5%が「参加したくない」となっている。



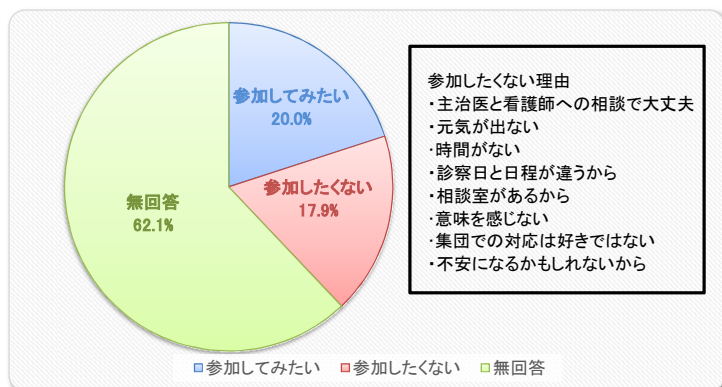
	サ ン プ ル 数	参 加 し て み た い	参 加 し た く ない	無 回 答
対 象	124	26.6%	14.5%	58.9%
一 般	124	33	18	73
合 計	124	33	18	73

H30年度

Q5.「がんサロン・患者会」について伺います。

3)「参加したことがある」と答えた方以外はお答えください、
参加してみたいと思いますか

・がんサロンに参加したことがない回答者のうち「参加してみたい」は20%いるが、
「参加したくない」も17.9%いる。
・前回と比べて「参加したくない」が3.4%増加している。



	サ ン プ ル 数	参 加 し て み た い	参 加 し た く ない	無 回 答
対 象	145	20.0%	17.9%	62.1%
一 般	145	29	26	90
合 計	145	29	26	90

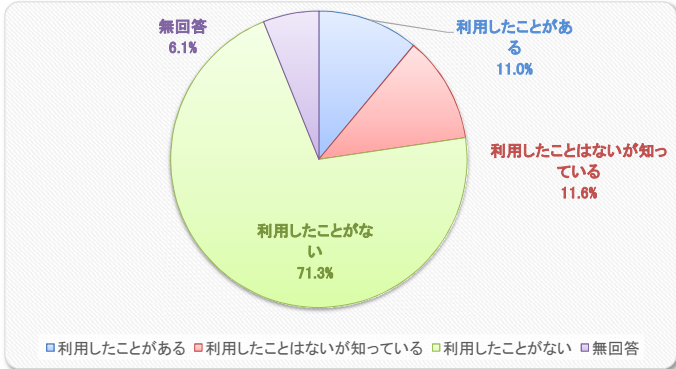
③一般向け

H27年度

Q6.「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」についてお伺いします。

1)「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」を利用したことがありますか

11.0%が「利用したことがある」、11.6%が「利用したことはないが知っている」、71.3%が「利用したことがない」となっている。



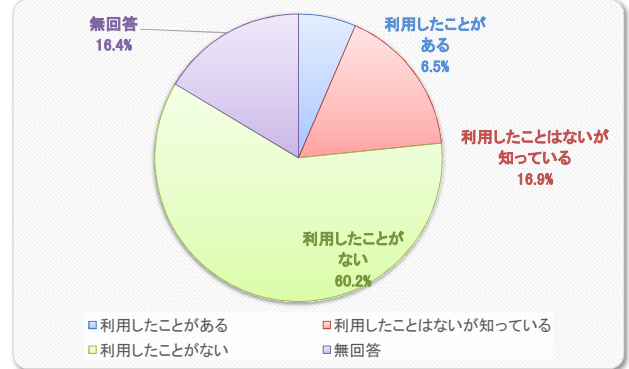
	サンプル数	利用したことがある	利用したことはないが知っている	利用したことがない	無回答
対象	181	11.0%	11.6%	71.3%	6.1%
一般	181	20	21	129	11
合計	181	20	21	129	11

H30年度

Q6.「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」についてお伺いします。

1)「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」を利用したことがありますか

・おしゃべり相談室を「利用したことがある」のは6.5%と低く、「利用したことはないが知っている」を合わせた認知度は23.4%となっている。
・前回と比較して「利用したことがある」は4.5%減少し、認知度は2%増加している。



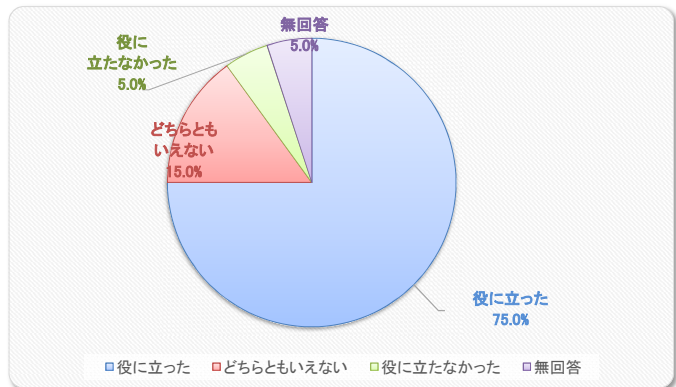
	サンプル数	利用したことがある	利用したことはないが知っている	利用したことがない	無回答
対象	201	6.5%	16.9%	60.2%	16.4%
一般	201	13	34	121	33
合計	201	13	34	121	33

H27年度

Q6.「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」についてお伺いします。

2)「利用したことがある」と答えた方はお答えください、利用して役に立ったと思いますか

75.0%が「役に立った」、15.0%が「どちらともいえない」、5.0%が「役に立たなかった」となっている。



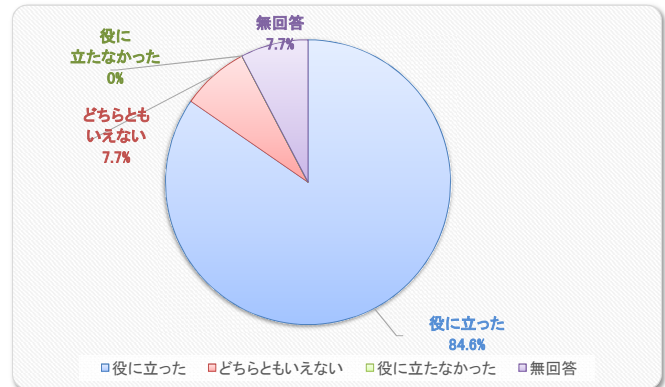
	サンプル数	役に立った	どちらともいえない	役に立たなかった	無回答
対象	20	75.0%	15.0%	5.0%	5.0%
一般	20	15	3	1	1
合計	20	15	3	1	1

H30年度

Q6.「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」についてお伺いします。

2)「利用したことがある」と答えた方はお答えください、利用して役に立ったと思いますか

・おしゃべり相談室を利用して「役に立った」は84.6%と高い。
「役に立たなかった」は0%だった。
・前回と比較して「役に立った」は9.6%増加しているが、「役に立たなかった」という意見は0%になった。



	サンプル数	役に立った	どちらともいえない	役に立たなかった	無回答
対象	13	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%
一般	13	11	1	0	1
合計	13	11	1	0	1

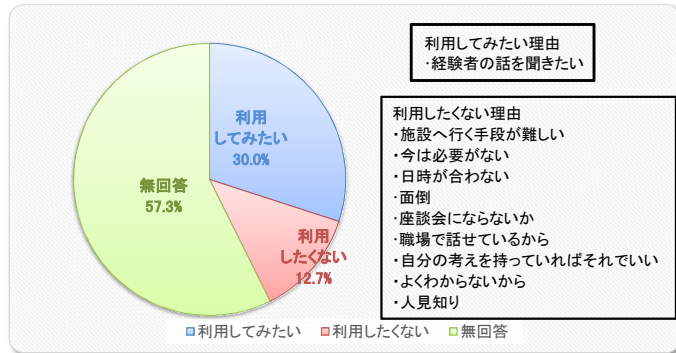
③一般向け

H27年度

Q6.「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」についてお伺いします。

3)「利用したことがある」と答えた方以外はお答えください、
利用してみたいと思いますか

30.0%が「利用してみたい」、12.7%が「利用したくない」となっている。



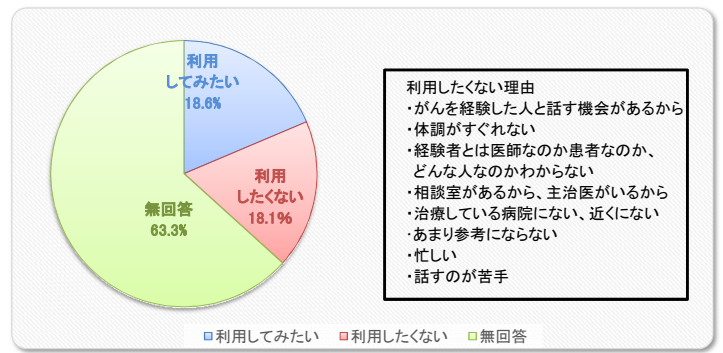
	サンプル数	利用してみたい	利用したくない	無回答
対象	150	30.0%	12.7%	57.3%
一般	150	45	19	86
合計	150	45	19	86

H30年度

Q6.「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」についてお伺いします。

3)「利用したことがある」と答えた方以外はお答えください、
利用してみたいと思いますか

・おしゃべり相談室を利用したことがない回答者のうち「利用してみたい」18.6%いるが、「利用したくない」も18.1%いる。
・前回と比較して、「利用したい」は11.4%減少し、「利用したくない」が5.4%増えている。

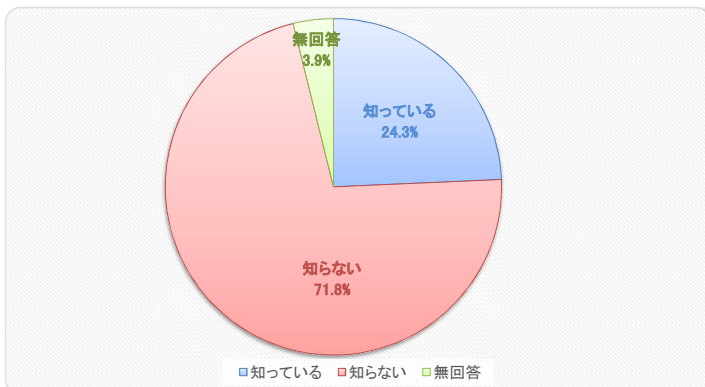


	サンプル数	利用してみたい	利用したくない	無回答
対象	188	18.6%	18.1%	63.3%
一般	188	35	34	119
合計	188	35	34	119

H27年度

Q7.がんピアサポーター（がんサロンの世話人、がん経験者相談員等）というピアサポーターを知っていますか。

24.3%が「知っている」、71.8%が「知らない」となっている。

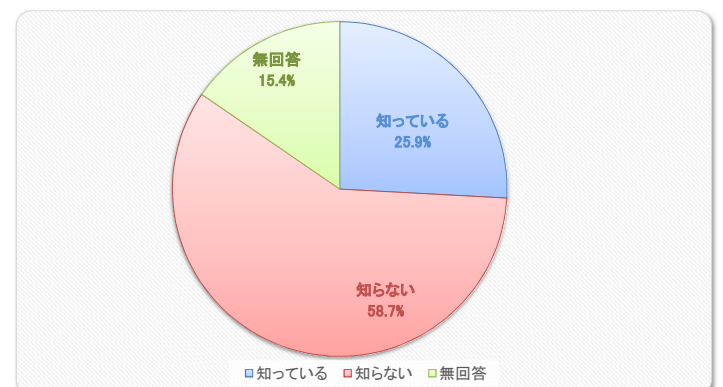


	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	181	24.3%	71.8%	3.9%
一般	181	44	130	7
合計	181	44	130	7

H30年度

Q7.がんピアサポーター（がんサロンの世話人、がん経験者相談員等）というピアサポーターを知っていますか。

・ピアサポーターを「知っている」は25.9%で、「知らない」を下回っている。
・前回と比較して「知っている」は1.6%増加し、「知らない」は13.1%減少している。



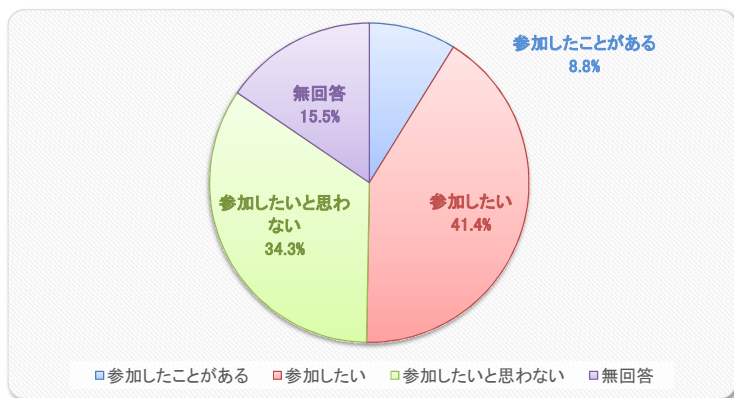
	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	201	25.9%	58.7%	15.4%
一般	201	52	118	31
合計	201	52	118	31

③一般向け

H27年度

Q8.がんピアサポーター研修会(毎年2、3月に実施)に参加したいと思いますか。

8.8%が「参加したことがある」、41.4%が「参加したい」、34.3%が「参加したいと思わない」となっている。

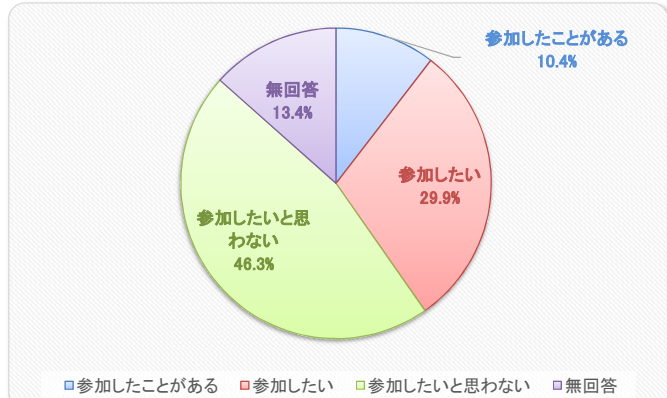


	サンプル数	参加したことがある	参加したい	参加したいと思わない	無回答
対象	181	8.8%	41.4%	34.3%	15.5%
一般	181	16	75	62	28
合計	181	16	75	62	28

H30年度

Q8.がんピアサポーター研修会(毎年2、3月に実施)に参加したいと思いますか。

・がんピアサポーター研修に「参加したことがある」は10.4%であり、「参加したい」29.9%と合わせてピアサポーターに関心があるのは40.3%である。
・前回と比較して「参加したことがある」は1.6%増加したが、ピアサポーターに関心があるのは約10%減少している。

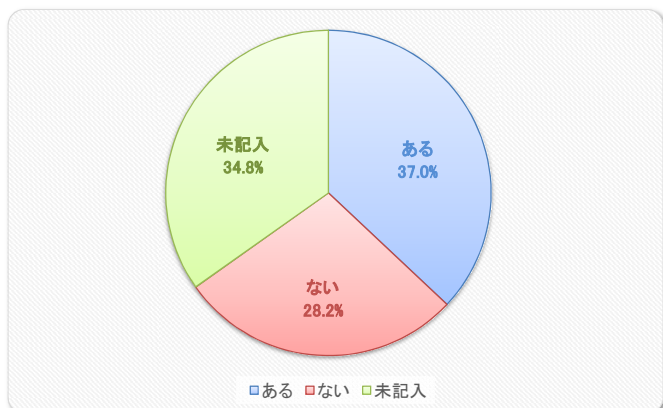


	サンプル数	参加したことがある	参加したい	参加したいと思わない	無回答
対象	201	10.4%	29.9%	46.3%	13.4%
一般	201	21	60	93	27
合計	201	21	60	93	27

H27年度

Q9.がんに関する公開講座やセミナー等で取り上げてもらいたい情報はありますか。(自由記載)

37.0%が「ある」、28.2%が「ない」となっている。

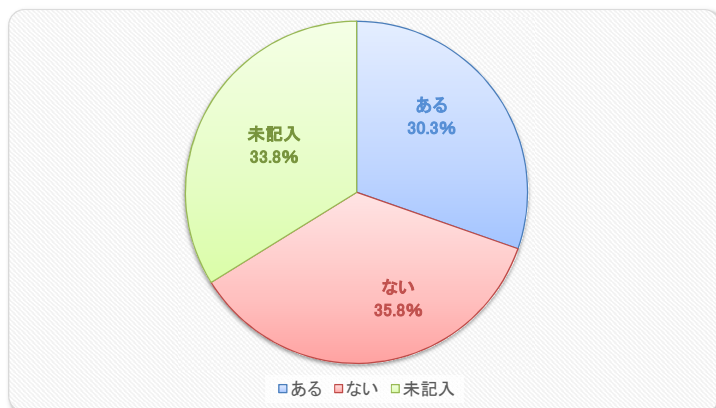


	サンプル数	ある	ない	未記入
対象	181	37.0%	28.2%	34.8%
一般	181	67	51	63
合計	181	67	51	63

H30年度

Q9.がんに関する公開講座やセミナー等で取り上げてもらいたい情報はありますか。(自由記載)

・がんに関するセミナー等で取り上げてほしい情報が「ある」のは30.3%で「ない」35.8%より少ない。
・前回と比較して「ある」と回答した人が6.7%減少し、「ない」が7.6%増加した。



	サンプル数	ある	ない	未記入
対象	201	30.3%	35.8%	33.8%
一般	201	61	72	68
合計	201	61	72	68

H27年度

Q9がんに関する公開講座やセミナー等で取り上げて欲しい情報（自由記載より分類）

項目	件数
新しい治療について（先進医療・免疫療法・遺伝子治療・ipsなど）	15
病気・治療の現状について（再発状況、治療後の状況など）	12
心のケア、がんとの向き合い方	7
治療費・経済的支援・社会制度などについて	7
緩和ケアについて	6
日常生活の留意点（食生活など）	5
終末期について	5
治療後の副作用	4
治療薬・新薬について	3
就労、仕事との両立について	2
生殖医療について	1
高齢者の治療法	1
医療者とのコミュニケーション	1
ピアサポーターの困りごと	1
早期発見について	1
セカンドオピニオン	1
在宅ケアについて	1
がん患者のサポートの仕方・関わり方	1
家族との関わり方	1
特定のがんについて （小児がん急性リンパ性白血病・膵臓がん・卵巣がん・小児がん）	4

H30年度

Q9がんに関する公開講座やセミナー等で取り上げて欲しい情報（自由記載より分類）

項目	件数
病気・治療の現状について（治療後の状況、代替療法など）	17
新しい治療について（免疫療法など）	9
治療薬・新薬について	7
治療後の副作用	7
治療費・経済的支援・社会制度などについて	5
心のケア、がんとの向き合い方	4
就労、仕事との両立について	3
家族との関わり方	3
日常生活の留意点（食生活など）	2
緩和ケアについて	2
男性を対象としたセミナー	1
終末期について	1
管理栄養士・ソーシャルワーカーなど医師以外の方からの話	1
医療者とのコミュニケーション	1
早期発見について	1
セカンドオピニオン	1
在宅ケアについて	1
がん予防	1
がん患者のサポートの仕方・関わり方	1
特定のがんについて（膵臓がん・胆管がん・乳がん・甲状腺がん・膀胱がん）	6

H27年度

Q10 がん相談に関して課題・不満等を感じていること

(自由記載より抜粋)

- 医師から手術後のデメリットのこともちゃんと話して欲しい。
- 子どもががんになり、毎日ハラハラして看病をしていた時に医師も看護師も何の情報もくれなかった。子どもが退院したあと、自分が精神的に不安定になってしまった。もう少しなにか考えてもらいたい。
- 患者は多くの情報や選択肢があるが、知識がなければなりゆきにまかせるしかないと感じた。医師やスタッフ次第ということだと思う。より良い支援を期待します。
- 熊本県内の肺癌の方の患者会などの交流ができる所を探しているが、なかなか情報が入ってこない。
- 地域でがんサロンを開きたいと思っている。患者は、がんになった時これから先起きることを知りたいと思う。それは、病院ではなく、患者同士で語り合うのが、一番と思う。
- 自分の病気を受け入れきれずに悩み、隠して、暗くなりがちな人が未だたくさんいると感じる。
- 誰でもが相談員になってほしくない。本心から弱い立場の患者の立場になって考えたり行動に移したり出来る方になってもらいたい。また来たか。みたいな感があられる相談員もたまにいる。
- 支援センターに行くと、心配な事など話を聞いてもらえるだけでも気持ちが落ちつく。これから先、病状が進んで行けば相談する事が多くなるのではないと思う。その病院の患者ではなくても相談できるのはすごく助かる。
- がんサロンをもっと活用してほしい。サロンが途絶えないように願う。
- 自分ががんになった時、相談できる所を知っておきたい。心のケアが大事と思う。
- がん相談制度がある事を知らなかった。もっと積極的に情報提供してほしい。
- 手術前には、十分な説明がされるけど、術後のスケジュール等の説明が不足している感じる。そのきめ細やかなフォローを相談支援センターにお願いしたい。
- 担当の医師は、とても忙しく、ゆっくりと話を聞く機会にない状態。不安に思ってる事はがんサロン等で話すが、解決がつかない。
- 前回の手術後、主治医が異動した。前任の医師とのコミュニケーションを取りたい。
- 気軽に相談できるととてもうれしい。
- 同室の患者同志から、情報を得る事が多いので医療者よりもリアルな話を聞く事が出来ている。
- 現在、かかっている病院に相談員がいるか、又、そういう場所があるかの情報を聞いた事はない。気軽に相談出来る場所があれば良いと思う。
- なかなか気軽に行きづらいです。少し敷居が高く感じます。
- 今後の事についていろいろ情報を知りたい。
- がん相談支援センター等の周知
情報は知りたいが、時間的に患者会等に参加しづらい人への情報提供
- H9年にはがん相談支援センターはなく、だれにも相談できずにいた。今だったら相談できただろうと思う。
- 相談室がわかりづらい
- 家族のケアも大切と思う。

H30年度

Q10 がん相談に関して課題・不満等を感じていること

(自由記載より抜粋)

- 支援センターの人が診察に立ち会うという事で、支払い料金が発生することは知らなかった。しかも新人の人の分も入っており、領収書を見てビックリした。前もって知らせて欲しかった。
- 診察前に、質問したい事や要望等を予め聞いてもらってた方が、患者のことを理解してもらえるのではないかな。
- 医師や看護師とずっと話すことができれば、自分の気持ちを素直に話せるような気がする。
- がんは患者や家族にとっては非常に苦痛なことです。今後の治療計画、週、月ごとの進捗の明確な提示をして欲しい。
- がんになったのは2度目だが、何をどう相談したら良いかわからない。独りで気持ちの浮きずみを取り返ししながら生活している。
- 上辺だけ分かったような言葉を言われるのは嫌です。本当に相手の気持ちに立って考えられるようであれば相談センターなどは意味を感じません。
- 本人に告知していない場合、なかなか相談に行きづらい。地元の病院だと知り合いに会うと思い、利用しづらい。
- 看護師の言葉等には敏感になっている。支え励ましの達人になって欲しい。
- がんになって1年未満である。経験者の話を聞きたいが、まだ自分がが患者である事を皆に知られるのは不安である。
- がん患者をサポートするところがある事をもっと広めて欲しい。病院の壁にポスターが貼ってあれば、いざという時に思い出す事もあると思う。私は初期だったためか医師や看護師からの説明はなかった。相談支援センターを利用した方がいい人にだけ紹介しているのだろうか。
- それぞれの病院で支援、相談に取り組んでいると思うが、年に1回位はその内容をがん患者にプリント等で配布したらどうだろうか。各病院、行政との連携が必要と思われる。
- 病気について詳しく聞きたいが聞きにくい状況である。
- がん患者に生きる勇気を与えて欲しい。
- どういう人が相談員になっているのかわからない。
- 主治医がより親身に、ゆっくり時間をとって患者に説明できる環境になればいいと思う。
- 初めてがんと知らされた時に、医師からがん相談支援センターの存在を教えてもらえばもっと楽な気分になったと思う。がんのことを相談する相手が誰もいなかった。
- 自分からはなかなか医師及び看護師は言いにくいので、タイミングを知らせてほしい。
- がんと診断され、様々な不安や恐怖を抱いている時には、なかなか気づけない。社会の中でもっと認知されれば、“がん”という言葉の威力が少し緩和できるのではないかと期待している。
- ウイッグの事で相談に行ったがその相談員は詳しくなく、具体的な説明がなかった。メジャーで頭のサイズを測定したりもせず、パンフレットを渡されたただけだった。髪が抜ける時のシャンプーのことを尋ねたが、わかりませんの一点張り、もっと親身になってほしかった。
- 弾性スリーブの見本を数や種類を多めに置いて欲しい。